

豊後大野市 男女共同参画だより

ハーモニー



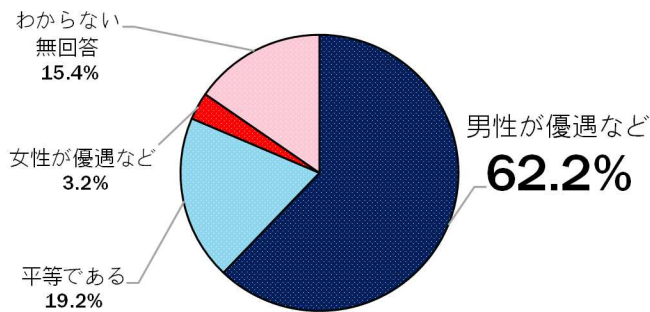
ぶんごおおの生き生きプラン(第3次豊後大野市男女共同参画基本計画)を策定しました

令和6年度に「男女共同参画社会づくりに向けての市民意識調査」を実施し、これまでの男女共同参画の取組の検証を行いました。

調査結果では、「男は仕事、女は家庭」のような固定的性別役割分担意識(性別で役割を固定する考え方)に「反対」と答えた割合が、10年前の約6割から7割以上に増加していました。一方で、男女の平等意識は、政治、地域社会、職場、家庭等で、依然として「男性が優遇」と答える割合が高い結果となりました。また、政策や方針決定の場への女性の登用・参画が少ないこと、配偶者等からの暴力(DV)対策や性的マイノリティの方に対する理解の推進などの様々な課題も見えてきました。

そこで、このような市の現状と国・県の動向、社会情勢の変化等を踏まえ、令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間とする「第3次豊後大野市男女共同参画基本計画」を策定しました。第2次計画の基本理念や施策内容等を継承しつつ、強化する点として以下の6つの項目を推進してまいります。

＜社会全体で男女の地位は平等だと思いますか＞
(令和6年度 市民意識調査結果)



＜特に強化する点＞

1. 固定的性別役割分担意識の解消に向けた啓発の推進
2. ワーク・ライフ・バランスの推進
3. 様々な困難をかかえる市民の理解と支援
4. 暴力の予防啓発と被害者支援
5. 女性の活躍推進
6. 多様な機関等が連携した支援体制の整備



「第3次豊後大野市男女共同参画基本計画」「男女共同参画社会づくりに向けての市民意識調査報告書」は、市のホームページ(トップ>分野別>男女共同参画)でご覧いただけます。

市民講座「性の多様性への理解～LGBTQ+をもっと身近に～」を開催しました

1月13日、パートナーシップ制度啓発事業の一環で、教育に携わる方を対象に、OVER THE RAINBOW 代表でトランスジェンダー男性の荒牧明楽さんからLGBTQ+についてご講演いただきました。

講演では、LGBTQ+学生の学校での困りごとの約3割が教員の心ない言葉によるものであること、カミングアウトは信頼と助けてほしいという意味だということなどの説明があり、学校や家庭での相談しやすい雰囲気づくりや安心して過ごせる場所づくりが求められました。



参加した方からは、「性は誰もが当事者であることを自覚し、日頃の何気ない言葉づかいに気をつけなければいけないと感じました。子どもたちにカミングアウトしてもらえるよう努力したいと思います。」「学級の子どもから相談されたことがあり、学級で性の多様性についての学習をしました。多様性があたり前となるような社会になるようにできる事をやっていきたいです。」などの感想をいただきました。

市としても、誰もが安心してありのままの自分として生活できるような環境づくりのために、今後も様々なかたちで啓発に取り組んでまいります。

